



更新プログラムのアンインストール

FDM 展開では、メジャーリリースとメンテナンスリリースを復元できます。これにより、Firepower Threat Defense がアップグレード前の状態に戻ります。



(注) 復元は、FMC または ASDM の展開ではサポートされていません。パッチでは復元もサポートされていません。ただし、FMC や ASDM の展開でパッチをアンインストールできます。手順については、パッチのリリースノートを参照してください。

詳細については、以下を参照してください。

- [アンインストール、復元、再イメージ化の選択 \(1 ページ\)](#)
- [復元についての注意事項と制約事項 \(2 ページ\)](#)
- [メジャーアップグレードまたはメンテナンスアップグレードの復元 \(4 ページ\)](#)

アンインストール、復元、再イメージ化の選択

次の表では、以前のリリースに戻すためのオプションを、一般的な方法から順に説明します。これらのオプションは、展開のタイプや削除するアップグレードのタイプによって異なります。ホットフィックスをアンインストールしないように注意してください。代わりに、Cisco TAC にお問い合わせください。

表 1: 以前のリリースに戻すためのオプション

導入	メソッド	Removes	説明
任意 (Any)	再イメージ化	任意のレベルのソフトウェア	<p>わずかな例外を除き、アプライアンスを工場出荷時のデフォルトに戻します。パッチレベルに再イメージ化することはできません。</p> <p>再イメージ化した後は、設定を最初からやり直す必要があります。以前にエクスポートした設定をインポートしたり、バックアップから復元したりできます。</p> <p>詳細については、ソフトウェアの新規インストールを参照してください。</p>
FTD with FDM	[元に戻す (Revert)]	メジャーおよびメンテナンスアップグレード	<p>アプライアンスを最後のメジャーアップグレードまたはメンテナンスアップグレードの直前の状態に戻します (スナップショットとも呼ばれます)。パッチ適用後に復元すると、パッチも必然的に削除されます。</p> <p>復元の後、アップグレードと復元の間に行った設定変更があればやり直す必要があります。</p>
FMC および管理対象デバイス ASDM を使用した ASA FirePOWER	アンインストール	パッチのみ	<p>アップグレード前に実行していたパッチレベルにアプライアンスを戻します。設定は変更されません。</p> <p>パッチのアンインストールの詳細については、パッチのリリースノートを参照してください。</p>

復元についての注意事項と制約事項

復元に適用される重要なガイドラインと制限事項は、次のとおりです。

復元がサポートされる状況は限られている

メジャーアップグレードとメンテナンスアップグレードは、FDM 展開でのみ復元できます。[アンインストール、復元、再イメージ化の選択 \(1 ページ\)](#) を参照してください。

スナップショット復元

復元すると、Firepower ソフトウェアは、最後のメジャーアップグレードまたはメンテナンスアップグレード（スナップショットとも呼ばれます）の直前の状態に戻ります。パッチ適用後に復元すると、パッチも必然的に削除されます。復元の後、アップグレードと復元の間に行った設定変更があればやり直す必要があります。

ディスク領域を節約するために復元スナップショットを削除できますが、復元の機能が失われます。

復元しても FXOS はダウングレードされない

Firepower 4100/9300 シャーシの場合、Firepower のメジャーバージョンには特別に認定および推奨されている付随の FXOS バージョンがあります。つまり、Firepower ソフトウェアを復元すると、推奨されていないバージョンの FXOS（新しすぎる）を稼働する可能性があります。

新しいバージョンの FXOS は旧バージョンの Firepower と下位互換性がありますが、シスコでは推奨の組み合わせについて拡張テストを実施しています。FXOS をダウングレードすることはできないため、このような状況下で推奨の組み合わせを稼働するには、完全な再イメージ化が必要になります。

詳細については、[Cisco Firepower Compatibility Guide](#)を参照してください。

ハイアベイラビリティユニットの同時復元

FTD ハイアベイラビリティペアの両方のユニットを復元する必要がある場合は、両方のユニットで同時に復元を開始することを推奨します。両方のユニットでセッションを開き、それぞれで復元が可能であることを確認してから、プロセスを開始します。

NTP 同期の確認

復元する前に、時刻の設定で使用している NTP サーバと Firepower アプライアンスが同期していることを確認します。同期されていないと、アンインストールが失敗する可能性があります。時刻を確認するには、**show time** CLI コマンドを使用します。

アプライアンスへのアクセス、通信、正常性

Firepower デバイスは、（インターフェイス設定に応じて）復元中、または復元が失敗した場合に、トラフィックを渡すことを停止できます。Firepower デバイスを復元する前に、ユーザの位置からのトラフィックがデバイスの管理インターフェイスにアクセスするためにデバイス自体を通過する必要がないことを確認してください。

復元中のアプライアンスに対して変更の展開、手動での再起動、またはシャットダウンは行わないでください。進行中の復元を再起動しないでください。復元プロセスが停止しているように見える場合がありますが、これは想定内の動作です。復元に失敗する、アプライアンスが応答しないなど、復元で問題が発生した場合には Cisco TAC にお問い合わせください。

トラフィックフロー、検査、およびデバイス動作

復元時のトラフィックフローとインスペクションの中断は、アップグレード時に発生する中断と同じです。復元は、保守期間中に行うか、中断による展開環境への影響が最も小さい時点で行うことを強く推奨します。詳細については、[トラフィックフロー、検査、およびデバイス動作](#)を参照してください。

メジャーアップグレードまたはメンテナンスアップグレードの復元

FDMから復元を実行するには、次の手順を使用します。FDMを使用できない場合は、**upgrade revert** FTD CLI コマンドを使用します。**show upgrade revert-info** コマンドを使用すると、システムがどのバージョンに戻るのかを確認できます。

始める前に

[復元についての注意事項と制約事項 \(2 ページ\)](#) を読み、理解します。

ステップ 1 [Device] を選択し、次に [Updates summary] の [View Configuration] をクリックします。

ステップ 2 [System Upgrade] セクションで、[Revert Upgrade] リンクをクリックします。

現在のバージョンと復元されるバージョンを示す確認ダイアログボックスが表示されます。復元できるバージョンがない場合、[Revert Upgrade] リンクは表示されません。

ステップ 3 ターゲットバージョンが許容できるバージョンである場合（かつ使用可能な場合）、[Revert] をクリックします。

次のタスク

アップグレードと復元の間に行った設定変更をやり直します。